

給食センターがオール電化でリニューアル

幌延町学校給食センターは、平成2年に開設以来19年を経過し、ガス機器の劣化によるガス漏れのおそれ

や、他の機器の更新時期がせまっていました。また、ボイラーについても老朽化による修繕の頻度が高く、給食センター全体の改修が

検討されてきました。

このため、平成20年度に補正予算を計上し、年度を繰り越して平成21年度に工事を実施し、平成21年10月30日工事が完了。11月12日より新しくなった給食セン

ターで作業が開始されます。機器のメンテナンスの容易さや衛生的な環境が保てることや、CO₂の削減などに考慮し、オール電化方式を取り入れました。なお、厨房機器については、給食センターを開設した当初は1000食規模で設置しましたが、今回300人

規模のものに変更しました。現在、児童・生徒の減少により、通常提供しているのが250食程度になっていることから、実状にあわせたものです。

この改修事業により、児童・生徒の皆さんにより安心で安全、そしておいしい給食を提供し、食育の一環を担つてまいりますので、給食事業にご理解とご協力ををお願いします。



給食センター改修事業概要

所在地:

天塩郡幌延町東町25番地 (幌延小学校敷地内)

給食能力:

通常250食／日 (300食対応)

冷暖房設備:

電気蓄熱床暖房、蓄熱暖房機、パネルヒーター、冷暖房空調

単位:千円

工事概要	設計委託料	3,255
	監理委託料	2,047
	建築主体	15,529
	電気設備	32,550
	機械設備	46,200
	計	99,581
備品購入	厨房備品	52,500
	給食運搬車	7,470
	計	59,970
総事業費合計		159,551



についても環境に配慮し、低燃費のディーゼルハイブリッド車に更新します。

給食センターの改修とともに、もう経費は、国の地域活性化・生活対策臨時交付金を財源とし、別表のとおりとなっています。